

「北九州市社会教育委員会議のあり方」について
(提 言)

平成25年12月
北九州市社会教育委員会議

はじめに

平成23年度策定の北九州市生涯学習推進計画において、社会教育委員会議は、「より効果的にその役割を発揮できるよう、組織や体制等のあり方の検討を行う」とされたことを受け、平成24年度社会教育委員会議において、同会議の現状や課題の認識、今後検討すべき事項や方法について審議を行ってきた。

具体的な方向性については、同会議内に北九州市社会教育委員会議のあり方検討小委員会を設置、3回の検討小委員会を開催し、議論を重ねた。

平成25年度社会教育委員会議において、「検討小委員会案」を議論し、この度「北九州市社会教育委員会議のあり方」をとりまとめため、北九州市教育委員会へ提言するものである。

北九州市社会教育委員会議

議長 恒吉 紀寿

「北九州市社会教育委員会議のあり方」

■ 総論

平成23年度に策定した北九州市生涯学習推進計画において、「社会教育委員会議が、より効果的にその役割を発揮できるよう、組織や体制等のあり方の検討を行う」とされたことを受け、北九州市社会教育委員会議のあり方について検討を行う。

【課題】

■ 社会教育委員（会議）の必要性・活性化

- ・ 現在、社会教育法及び北九州市生涯学習推進計画に基づき、同計画の立案や進捗管理について審議する一方で、それがそれ以外の議題や報告については質疑応答と承認が中心となっており、委員（会議）として議論を深めることが難しい状況になっている。（社会教育法第17条第1項第1号、第2号が中心）
- ・ 委員30名は他都市と比べても多い。（平均より2倍以上の委員数）
- ・ 社会ニーズ（研究調査）や、重要な行政課題に対して対応できるような仕組みが必要。（第2号、第3号）

【方向性】

- ・ 社会教育法第17条の社会教育委員の職務をより発揮できる会議の見直しが必要。臨時会議の開催や答申・提言を行うなど行政課題に対応できる会議として機能させる。
- ・ そのため組織や体制について次の4つの視点で検討した。

- 1 審議内容の見直し
- 2 審議対象事業の範囲について再検討
- 3 人数及び開催回数について見直し
- 4 以上を踏まえ、新たな委員の選任基準を作る

■ 各論

審議内容

【検討内容（主な意見）】

- 計画の立案、進捗管理
 - ・ 進捗状況の個別的な確認ではなく、計画上の事業数値目標や取組手法といった、全体の方針の確認が良い。
- 意見具申や提案の実施
 - ・ 随時の課題に応じた調査研究を進めながら、課題解決に向けた提案を行う。

審議対象事業の範囲

【検討内容（主な意見）】

- ・ 社会教育の各分野には専門的な審議会があるものの、当会議では容観的に広く社会教育行政全般にわたり議論できる点が、メリット。
- ・ ただ、現状どおり全ての事業や予算の報告を審議対象とするのは範囲が広すぎるため、計画の進捗管理に係る事業を主な対象とする方法もある。
- ・ 地域課題や市民要望の中で、優先順位が高いと判断したものについては審議しなればならないのでは。

人数及び開催回数

【検討内容（主な意見）】

- ・ 社会教育全体の視点で人材育成や市民の学習環境、社会教育推進について議論するには本来分野は多岐にわたる。
- ・ ただし、現状の委員30名体制では、委員全員が討議する状況に至らず、会議で提言や意見を取りまとめるためには、ある程度人数の制限が必要。
- ・ 弾力的な人数や回数で議論することが望ましい。

新たな委員の選任基準

【検討内容（主な意見）】

- ・ これまでどおり学校教育、社会教育、家庭教育、学識経験者の各分野から選任するが、委員数の平準化が必要では。
- ・ 市民公募については、社会教育委員としての職務が可能な含め検討すべき。

【結論】

計画の立案等は全体会議で審議するが、全体会議で十分に議論できない内容については、検討委員会等での議論を経るなど、会議の審議内容が深まる工夫を行う。

【結論】

生涯学習推進計画に掲げられた事業を審議対象とする。
市民要望の強い案件や喫緊の課題となる社会教育関連事業については、必要に応じて臨時会議を開催し、意見を述べる機会をつくる。（各委員からの提案も含む）

【結論】

会議の活性化のため、委員数は現在の半数程度が望ましい。（政令市平均13名）
開催回数は、定例会議（年2回）のほか、臨時会議・検討委員会等（年2回程度）を開催する。（ただし生涯学習推進計画策定作業年度はこの限りでない）
検討委員会等については、必要に応じ、研究調査に関する専門家（オブザーバー）を招聘し、意見を求めることができる体制とする。

【結論】

これまでどおり学校教育、社会教育、家庭教育、学識経験者の各分野から選任するが、委員数の平準化を図る。
市民公募委員については、法令や他都市の状況を研究した上で、選任を検討する。

「北九州市社会教育委員会議のあり方」審議経過

平成24年度

第1回社会教育委員会議 平成24年5月24日(木)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」について（基本的な考え方）

第2回社会教育委員会議 平成24年12月25日(火)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」について（今後の検討方法案）

第1回検討小委員会 平成25年2月28日(木)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」の検討について
現状認識，意見交換

第2回検討小委員会 平成25年3月26日(火)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」（素案）の検討

平成25年度

第3回検討小委員会 平成25年5月28日(火)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」（素案）の検討

第1回社会教育委員会議 平成25年6月21日(金)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」（検討小委員会案）の検討

第2回社会教育委員会議 平成25年12月19日(木)

「北九州市社会教育委員会議のあり方」とりまとめ

北九州市社会教育委員名簿

区分	氏名	役職名
議長	恒吉 紀寿	北九州市立大学 文学部 准教授
副議長	太田 康子	北九州市婦人団体協議会 理事
	西岡 幸則	元北九州市立中央図書館 館長
学校教育	尾濱 邦子	北九州市立小学校長会 代表（中尾小学校長）
	江口 恵子	北九州市立中学校長会 代表（大蔵中学校長）
	固谷 寛	福岡県公立高等学校長協会 北九州地区会長 （門司学園高等学校長）（平成 25 年 8 月 29 日～）
	水江 晋爾	福岡県公立高等学校長協会 北九州地区副会長 （戸畑高等学校長）（～平成 25 年 8 月 28 日）
社会教育	中口 久美子	北九州市 P T A 協議会 副会長
	福島 司	北九州市子ども会連合会 会長
	古賀 敦子	ガールスカウト福岡県連盟北九州地区 地区長
	長尾 時男	ボーイスカウト北九州西地区協議会 地区委員長 （平成 25 年 8 月 29 日～）
	中本 賢一	北九州西ボーイスカウト振興会 幹事長 （～平成 25 年 8 月 28 日）
	田中 正直	北九州文化連盟 専務理事 （平成 25 年 8 月 29 日～）
	井生 定巳	北九州文化連盟 会長 （～平成 25 年 8 月 28 日）
	砂子 愛子	北九州市レクリエーション協会 会長 兼務理事長
	村岡 俊宏	公益財団法人北九州市体育協会 理事 （平成 25 年 8 月 29 日～）
	有松 嵩雄	公益財団法人北九州市体育協会 生涯スポーツ委員長 （～平成 25 年 8 月 28 日）
家庭教育	野田 弘子	子育てサポーターリーダー （平成 25 年 8 月 29 日～）
	服部 多恵子	子育て支援グループ「みつばちクラブ」代表 （～平成 25 年 8 月 28 日）
	佐野 朋子	北九州市立子育てふれあい交流プラザ 所長
学識経験者	波田 千賀子	北九州市議会議員（平成 25 年 3 月 23 日～）
	奥村 祥子	北九州市議会議員（平成 25 年 3 月 23 日～）
	渡辺 均	北九州市議会議員（平成 25 年 3 月 23 日～）
	三原 征彦	北九州市議会議長（平成 25 年 3 月 23 日～）
	平原 潤	北九州市議会議員（平成 25 年 3 月 23 日～）
	山本 眞智子	北九州市議会議員（平成 25 年 3 月 23 日～）
	岡本 義之	北九州市議会議員（平成 25 年 3 月 23 日～）

区分	氏名	役職名
学識 経験者	渡辺 徹	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	吉田 通生	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	奥永 浩二	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	本田 忠弘	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	新上 健一	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	山本 真理	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	後藤 雅秀	北九州市議会議員（～平成 25 年 3 月 22 日）
	岡本 興大	一般社団法人北九州青年会議所 監事 （平成 25 年 8 月 29 日～）
	藤上 良裕	一般社団法人北九州青年会議所 監事 （～平成 25 年 8 月 28 日）
	大島 まな	九州女子大学 共通教育機構 准教授
	佐保 美奈子	株式会社井筒屋 監査役室 部長
	大坪 和弘	NHK北九州放送局 企画編成 主管
	酒匂 美智子	ネットワークミラクル 元会長
	沼 登志子	北九州市私立幼稚園連盟 理事
	高橋 悦子	北九州市老人クラブ連合会 理事 （平成 25 年 8 月 29 日～）
中村 久美	北九州市老人クラブ連合会 副会長 （～平成 25 年 8 月 28 日）	
熊本 かほる	おとなの寺子屋 主宰	

「北九州市社会教育委員会議のあり方」検討小委員会 委員名簿

区分	氏名	役職名
議長	恒吉 紀寿	北九州市立大学 文学部 准教授
副議長	太田 康子	北九州市婦人団体協議会 理事
	西岡 幸則	元北九州市立中央図書館 館長
学校教育	江口 恵子	北九州市立中学校長会 代表 （大蔵中学校長）
社会教育	中口 久美子	北九州市PTA協議会 副会長
家庭教育	佐野 朋子	北九州市立子育てふれあい交流プラザ 所長
学識経験者	大島 まな	九州女子大学 共通教育機構 准教授